

仏教ソーシャルワークの旅

アジアのソーシャルワークにおける仏教の可能性を探る

一群のアジアの大学研究者、仏僧、NGO リーダーが仏教ソーシャルワーク探訪の旅をはじめた。
西洋生まれの専門職ソーシャルワークのグローバル化の波に抗して。



APASWE
Asian and Pacific Association for Social Work Education

後援：アジア太平洋ソーシャルワーク教育連盟

日時 2019年 **12**月**20**日(金)
21日(土)

会場 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 研修室
(東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 6階)

20日 9:30～：現在までの歩み

1. ABCモデルから作業定義、それを越えて
(ARIISW 国際プロジェクト)
2. 寺院・僧侶は地域社会で何を担えるのか
(ARIISW 国内プロジェクト)
3. アジア仏教参加各国 何をやり、何を得たか

21日 9:00～：これからどこへ向かうか

1. 各国それぞれの道：理論、調査、教育、実践
2. ARIISW：実証データの収集
「仏教ソーシャルワークにできて西洋専門職
ソーシャルワークにできないこと」
3. 世界のソーシャルワークへの異議申し立て
「Indigenization は答えになるのかー
グローバル定義” Indigenous knowledge” の意味」

海外のゲストスピーカー

20日 アジア仏教国から

ベトナム グエン・ホイ・ロアン氏

スリランカ ヘラ氏、アヌラダ氏

タイ ソパ・オノパス氏

21日 カナダから

ニコル・イヴェス氏 (マギル大学 教授)

